

平成29年12月21日

平成29年度新公共経営プロジェクトチーム

提 言 書

大学を核とした新たなまちづくり
～大学と連携した地域の課題解決～

1 - (1) 藤枝市の現状

藤枝市は、静岡県内の市で、人口増加数 1 位。

藤枝、袋井、長泉以外は、全て人口が減少。

さらに、5年連続転入超過県内 1 位。

しかし、国の予測では、

平成22年をピークに減少に転じ、平成52年までに2万5千人減少。高齢化率も約4割に。



藤枝市においても
人口減少対策は必要である

1 - (1) 藤枝市の現状

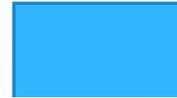
【人口減少によって起きる課題】

- 農家や中小企業等の後継者不足による
⇒ **地域の活力衰退**
- 空き家、空き店舗の増加による
⇒ **藤枝市の経済の衰退**
- 地域の担い手不足による
⇒ **地域コミュニティの機能低下**
- 公共交通網の衰退による
⇒ **利便性の低下**

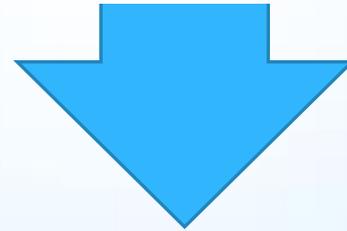
など

1 - (1) 藤枝市の現状

人口減少によって課題の深刻化



行政サービスの維持が困難になり
住みにくいまちになる



さらなる人口減少につながり、
悪循環に陥る

1 - (1) 藤枝市の現状

藤枝市の人口動態を分析してみると・・・

人口減少への要因その①：自然減

年度	人口	社会動態 転入転出	自然動態 出生死亡	前年比	内訳				
					転入	転出	出生	死亡	その他
H29 (9月時点)	146,190	155	▲179	▲43	2,198	2,043	514	693	▲19
H28	146,233	86	▲376	▲297	4,475	4,389	1,064	1,440	▲7
H27	146,530	379	▲276	103	4,863	4,460	1,147	1,423	▲24
H26	146,427	284	▲316	▲32	4,899	4,553	1,091	1,407	-
H25	146,459	540	▲213	245	5,420	4,880	1,171	1,384	-
H24	146,214	1,026	▲213	755	5,511	4,485	1,146	1,359	-

引用元：『転入・転出者アンケート調査結果(平成28年度)』・『人口動態速報』藤枝市市民文化部・市民課

1 - (1) 藤枝市の現状

人口減少への要因その①：自然減

人口の自然減の主な理由である出生数の減少



厚労省統計より

1 - (1) 藤枝市の現状

人口減少への要因その②：若者の転出超過

年代	~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~	合計
転入	577	347	1,504	980	512	247	165	143	4,475
転出	426	501	1,659	891	447	214	138	113	4,389
差	151	▲154	▲155	89	65	33	27	30	86

引用元：『転入・転出者アンケート調査結果(平成28年度)』藤枝市市民文化部・市民課

↑ 大学進学や就職を機に転出していると考えられる。

1 - (1) 藤枝市の現状

【藤枝市の人口減少対策への課題】

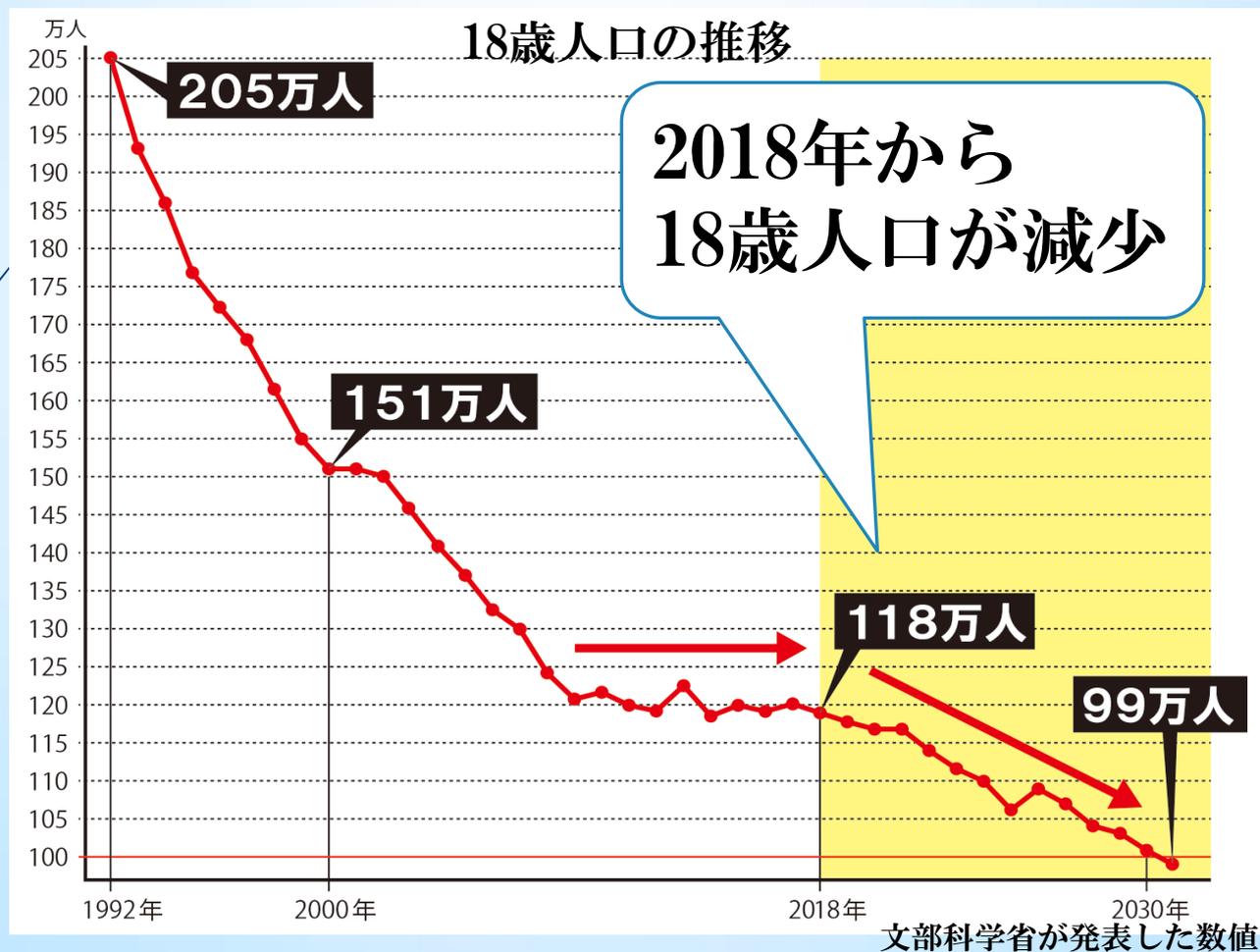
(1) 出生数の低迷

現在は死亡者数が出生者数を上回っており、自然減が続いている。

(2) 若者の市外への流出

若者が市外へ流出しており、流出数が流入者数を上回っているため、このままでは若者が減少する一方である。

1 - (2) 地方大学の現状 【2018年問題について】



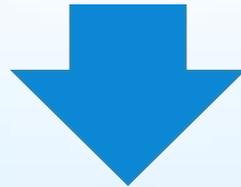
1 - (2) 地方大学の現状

【地方大学の抱える課題】

人口減少により学生の確保が困難
大都市圏の大学への学生流出



経営の**悪化**が引き起こされる



大学の存続危機

1 - (2) 地方大学の現状

【地方大学がなくなると・・・】

- 若者の大都市圏への流出の加速化
- 地方の教員、医師、技術者等の人材不足
- 地方の高等教育の低下

大都市圏への若者集中！！

地方の衰退・・・

1 - (3) 施策の方向性

行政、大学がそれぞれで課題を解決していくことは難しい・・・

⇒互いの強みを活かした連携により課題を解決していく必要がある。



『行政』『大学』による連携を

1 - (3) 施策の方向性

行政と大学が連携することにより

【行政】

- 若者の意見や活力を取り入れた施策の実施が可能
- 大学と地域が連携した若者の地域定着の促進が可能
- 新たな教育の拠点づくりが可能

【大学】

- 地域に開けた大学づくりが可能
- 地域への社会貢献による魅力ある大学づくりが可能
- 地域と連携した研究における実践の場の確保が可能

2 事業提案

若者の活力を取り入れた地域活性化事業

事業提案① 学生まちづくりワークショップ

事業提案② 学生によるWeddingプランコンテスト

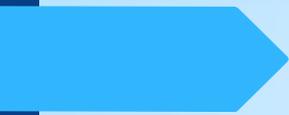
大学と連携した若者の地域定着促進事業

事業提案③ 就職支援センター

事業提案④ 藤枝ネットワーク大学

大学と連携した、新たな教育拠点事業

事業提案⑤ 学びの場の創出



事業提案①

学生まちづくりワークショップ

事業提案①

学生まちづくりワークショップ

【事業概要】

『若者に選ばれるまち』を市と一緒に創ってくれる学生を募集



- 毎年まちづくりテーマを設定し、学生によるワークショップを実施。その成果としてコンテストを行う。
- 優秀賞を受賞したグループは、市長の前でプレゼンを行う場を設ける。
- 学生、行政、関係機関からなる実行委員会を設立。また関係する学部のゼミ等に調査研究を依頼。学生とともに事業を実現させていく。

【対象者】

市内在住または市内の高校、各種学校
藤枝市との連携大学に通う学生



事業提案①

学生まちづくりワークショップ

【事業内容】

《日程》

4～6月 参加者募集

7～10月 全5回のワークショップ開催

最終回で政策提案コンテストを実施

10月 市長へのプレゼン

11月 実行委員会設置

※次年度予算要求に向けた
事業の検討を行う

《場所》

藤枝市産学官連携推進センター



事業提案①

学生まちづくりワークショップ

【事業内容】

初年度テーマ

『B i V i 藤枝を活用した まちづくり』

《テーマ設定理由》

B i V i 藤枝内に産学官連携推進センター、静岡産業大学駅前キャンパスが開設。学生による発想で、駅前における人の流れやにぎわいの創出に期待することができる。



事業提案①

学生まちづくりワークショップ

【展望】

- ・ 指定テーマでのワークショップだけでなく、
学生が提案したテーマによるワークショップの実施
- ・ 単年ではなく、毎年実施し継続していくことで、
若者によるまちづくりの意識が定着する



学生や若者が主体的に運営・実施することを目指す

ワークショップ！！

事業提案②

学生によるWeddingプラン
コンテスト

婚姻数の減少
晩婚化



人口自然減

対策の1つとして…

⇒若者の結婚意識向上のための、きっかけづくり
後押しが必要である

そこで、若者に結婚に対して興味をもってもらうための取組として



藤枝市内の結婚式場と連携した取組を実施

事業提案②

学生によるWeddingプランコンテスト



【事業概要】

- 学生にWeddingプランを企画してもらいコンテストを実施
- 学生が提案した優秀なプランは、市内の結婚式場と連携し商品化する

【対象者】

- 市内在住または市内の高校、各種学校及び連携大学に通う学生（個人またはグループ）

事業提案②

学生によるWeddingプランコンテスト

【事業目的】

- 学生に若いうちから結婚に対する意識、関心を持ってもらうため、結婚式について考えてもらう機会を創出する
- 結婚式をしないカップルが増える中、「この結婚式をしたい！」と思えるような、魅力あるプランを実現して、藤枝での結婚式の数を増やし地域の活性化につなげる

事業提案②

学生によるWeddingプランコンテスト

【事業内容】

単に結婚式のプランを考えるだけでなく、

「藤枝の地域資源を活用した

Weddingプラン」を募集



**藤枝オリジナルの
Weddingプランを目指す**



事業提案②

学生によるWeddingプランコンテスト

【藤枝オリジナルにするメリット】

- I 学生が藤枝の魅力や資源を再発見し、藤枝への愛着を生み出すことができる
- II Weddingプランに地域資源が使われることで、地域の活性化につながる
- III 藤枝の魅力を含んだプランを市内外に発信することで、シティプロモーションにつなげられる

事業提案②

学生によるWeddingプランコンテスト

【事業日程】

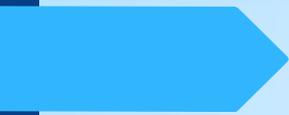
4～6月 参加者募集

7～9月 研修に参加（複数回行う）

10月 コンテストで発表、優秀作品の決定

11月 優秀作品のお披露目（模擬結婚式の実施）

※コンテストに参加した学生が自分の
学校の学生を招待し模擬結婚式を披露
結婚を考えるセミナーも同日開催
⇒より多くの若者へ啓発



事業提案③

就職支援センター

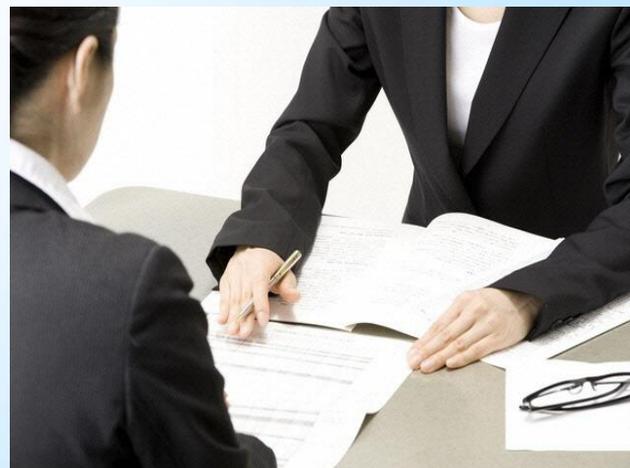
就職支援センター

若者と地元企業の架け橋となる就職支援センターを設立し、若者の地元企業への就職による地域定着を図る。

【事業概要】

藤枝市産学官連携推進センター内に、志太3市で連携した就職支援センターを設置

- 地元企業と学生の交流の場の提供
- 藤枝市をはじめ志太3市への就職希望者に対する就職支援
- 地元企業のPR活動



就職支援センター

【事業目的】

- 藤枝市をはじめとする志太3市への就職希望者に対する総合窓口を設置することで、地方就職へのハードルを下げ、学生の地元就職を促進する
- 地元企業のPRを行い、就職希望者が企業情報を取得しやすい環境を整えることで、マッチングを促進し、企業の働き手の確保を図る
- 志太3市で連携することで、学生の就職の選択肢の増加を図る

就職支援センター

I 産学官連携による交流会の開催

【事業内容】

企業や行政の若手社員と学生が参加する交流会を開催する。

【交流会の目的】

学生が普段接する機会のない社会人、特に若手社員から仕事に対する「ホンネ」を聞き、就職へのイメージを持つ。

就職支援センター

I 産学官連携による交流会の開催

【対象者】

企業や行政の若手職員及び大学生

※参加目的を持ちやすくするために、テーマを決めて実施。

例)

- ・『働いてみたい企業とは』
- ・女子学生を対象とした、『女性の働きやすい職場とは』など

【日程】

毎月テーマを変え、月1回程度の開催

【場所】

藤枝市産学官連携推進センター

就職支援センター

I 産学官連携による交流会の開催

【交流会の効果】

- 学生の働くことに対する不安を解消
- 学生の地元企業に対する情報不足を解消



学生の就職に対する不安を解消することで
地元企業への就職を促進

就職支援センター

II 取材型インターンシップ

【取組内容】

- ・ チーム単位で複数の市内中小企業へ取材訪問
- ・ 取材した企業の魅力をチームでまとめて記事作成
- ・ 作成した記事を産学官連携推進センターの活動交流スペースやHP*に掲載

*…「しずおか就職net (県事業)」などの既存ツールを活用し、将来的には企業紹介サイトの立ち上げを目指す

【対象者】

大学1・2年生（早期の就職への意識付けの啓発）

【活動場所】

藤枝市産学官連携推進センター 活動交流スペース

就職支援センター

II 取材型インターンシップ

【学生側のメリット】

- 地元企業について知ることができる
- 働くことへのイメージが持てる
- 他大学生との人脈が広がる
- ビジネスマナーや情報発信スキルが習得できる

【企業側のメリット】

- 企業の魅力を若者目線で発信
- 企業の認知度UP
- 若者の雇用機会の増加→次世代を担う人材の確保

事業提案③

就職支援センター

Ⅲ カウンセリング・情報集約

【事業内容】

就活コーディネーターを配置し、志太3市への就職希望者に対する相談等への対応を行う。

○就活コーディネーターによるカウンセリング

- ・ 就職活動の進め方指南
- ・ 説明会や相談会などの就職支援情報の提供

○各支援機関等の情報集約

- ・ 県や他市町村
- ・ ハローワーク
- ・ 商工会議所 など

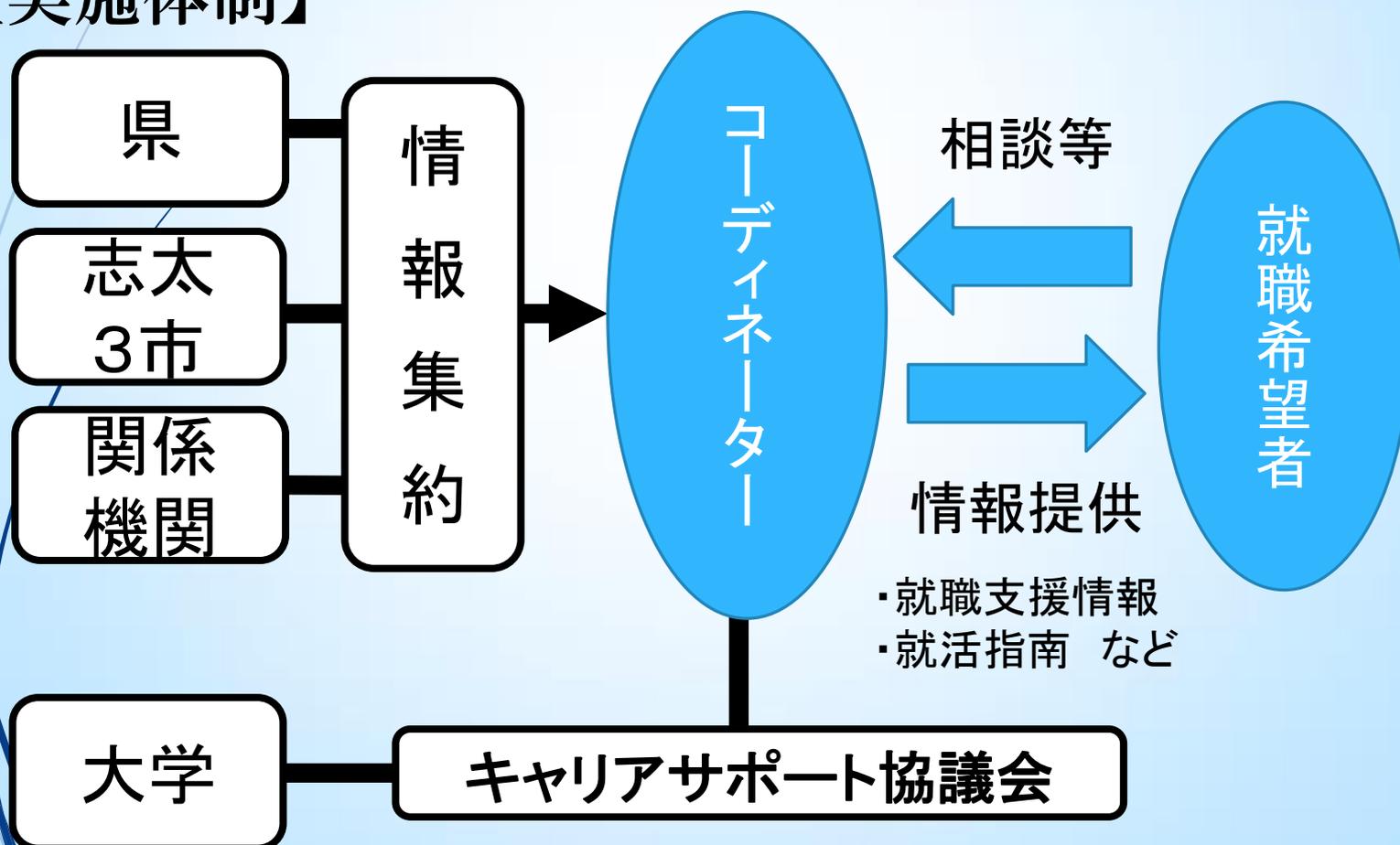


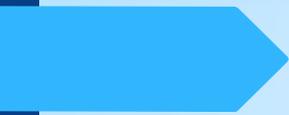
事業提案③

就職支援センター

Ⅲ カウンセリング・情報集約

【実施体制】





事業提案④

藤枝ネットワーク大学

事業提案④

藤枝ネットワーク大学

【事業概要】

I 官学連携Uターン促進事業

⇒単位互換制度を活用した、県内出身の首都圏の学生を対象にしたUターン誘致活動の実施

II 藤枝ネットワーク大学講座の開催

⇒連携大学による市民向けの講座等の開催

【事業目的】

- 大学と連携した県内出身者のUターン促進を図る
- 地域と大学を結ぶ場を創出し、各大学の魅力を知ること、県内大学への進学を促進し、若者の県外流出を抑制する

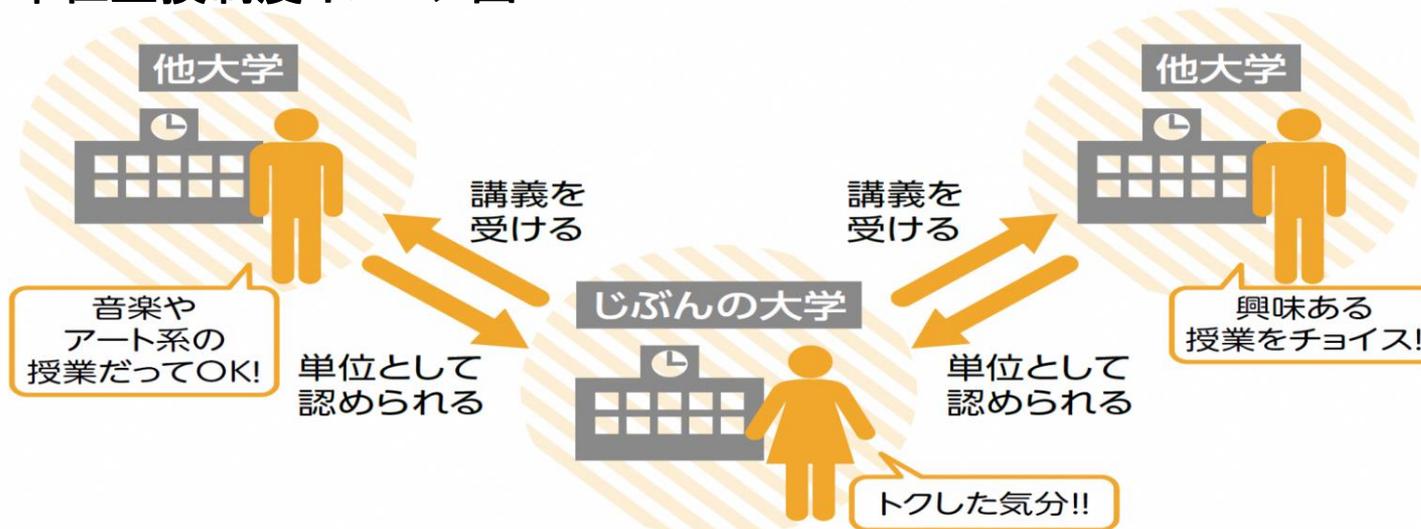
事業提案④

藤枝ネットワーク大学

I 官学連携Uターン促進事業

単位互換制度とは、大学同士が協定を締結することで、協定先の大学で科目を履修した場合も、学生の卒業単位として認定を可能とする制度。

単位互換制度イメージ図



事業提案④

藤枝ネットワーク大学

I 官学連携Uターン促進事業

【事業内容】

連携大学と首都圏の大学との協定締結（ネットワーク大学）による単位互換制度の活用の交渉を行う。

⇒履修単位数が減少する3、4年次の学生を対象に、県内連携大学の科目を履修しても単位が取得できるようにする。これにより、生活拠点を首都圏から静岡に移し、Uターン就職のハードルの一つである経済的な負担を軽減させ、Uターン就職を促進する。

事業提案④

藤枝ネットワーク大学

Ⅱ 藤枝ネットワーク大学講座の開催

【事業内容】

- ・ 藤枝市と包括連携協定を結ぶ各大学の講師を招き、専門性を活かした講義を市民、学生向けに実施する
- ・ 複数大学と連携することで、学生の講義選択の幅を広げる



事業提案④

藤枝ネットワーク大学

Ⅱ 藤枝ネットワーク大学講座の開催

【講座例(対応大学・学部)】

○高校生向け講座【県内大学紹介】

- ・各大学の体験講座（県内各大学）

○就活者・社会人向け講座【ビジネスプログラム・語学プログラム】

- ・TOEIC、語学講座（常葉大学・外国語学部）
- ・WEBサイト編集講座、パソコン文書作成講座（静岡産業大学情報学部）
- ・キャリアカウンセリング講座（静岡福祉大学キャリアデザインカレッジ）
- ・マーケティング（静岡大学人文社会科学部、静岡県立大学経営情報学部）

○一般向け講座【生涯学習】

- ・健康、栄養学講座（常葉大学健康プロデュース学部）
- ・民法講座（静岡大学法学科、常葉大学法学部）

事業提案④

藤枝ネットワーク大学

II 藤枝ネットワーク大学講座の開催

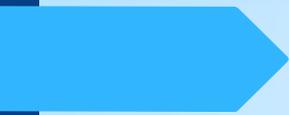
○連携大学の学生向け講座

単位互換制度を活用して、連携大学同士で講義の選択肢を増やし、カリキュラムの充実を図る。

また、静岡県の魅力を学生に発信するため「静岡の魅力」をテーマにした連携大学によるリレー講座を実施し、静岡の魅力を認識してもらうことで将来的な地域定着につなげていく。

【開講場所】

平成29年10月にB i V i 藤枝内に設置された
藤枝市産学官連携推進センターのセミナールームを利用



事業提案⑤

学びの場の創出

事業提案⑤

学びの場の創出

【事業概要】

子育て世代に対して、連携大学教授の子育てに関する専門的な講座の開講。

＜連携先候補＞

- ・ 静岡産業大学 経営学部
- ・ 静岡大学 教育学部
- ・ 常葉大学 保育学部
- ・ 静岡福祉大学 社会福祉学部
- ・ 静岡県立大学 短期大学部



事業提案⑤

学びの場の創出

【事業概要】

<対象>

子育て世代

<内容>

- ・ **連携大学教授**による託児付き子育て講座の開催
- ・ 親子向け講座の開催 (大学生による講座のサポート)
- ・ 保育士と福祉系の大学生による託児機能併設

<場所>

- ・ 藤枝市産学官連携推進センター
- ・ れんげじスマイルホール

<期間>

1ヶ月に1回程度実施



<開講講座例>

- ・ 健康栄養学講座
- ・ 知育講座
- ・ 親子運動教室
- ・ 父親子育て講座 など

学びの場の創出

【事業概要】

<目的>

- 子育てに関する専門的な知識の提供
- 子育て世代の交流の場の創出

<効果>

- 子育てに関する知識を得てもらい不安の解消を促進
- 子育て中の親同士の交流促進
- 大学教授の調査研究成果の披露の場の創出
- 大学生が関わることにより、藤枝市の子育てについて若い世代に周知が可能

⇒藤枝市の保育士になるきっかけを与える



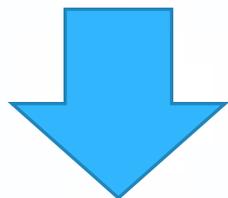
事業提案⑤

学びの場の創出

以上のことから…

子育て世代やこれから子育て世代になる若者に対して

『子育てに力を入れている』を実感してもらおう



子どもがもう一人ほしい！！

藤枝市で子育てをしたい！！

の声を増やし

若者が子育てしたいと思うまちづくり

を目指す！

3 - (2) ありたき姿

【課題】

人口減少により、
地方行政サービスは維持が困難になり、
地方大学は経営が困難になる。

【施策】

互いの強みを活かした連携により課題
を解決。

3 - (2) ありたき姿

行政と大学が連携することにより、

行政は『若者に選ばれるまち』

大学は『学生に選ばれる大学』

を目指し、行政と大学がともに発展するまちづくりを実現していく。

ご清聴ありがとうございました

平成29年度 政策提案プロジェクトチーム

No.	役職	氏名	所属
1	リーダー	中島 慎吾	環境水道部 生活環境課
2	サブリーダー	杉本 愛	出納室
3	サブリーダー	柴田 和也	市民文化部 協働政策課
4		藁科 幸絵	総務部 総務課
5		鈴木 千晶	企画創生部 広域連携課
6		竹下 久登	財政経営部 課税課
7		芳川 大輝	健康福祉部 国保年金課
8		竹嶋 悠次	産業振興部 農林課
9		米澤 勇人	都市建設部 建築住宅課
10		石川 由貴	教育部 教育政策課